

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年2月22日

【四半期会計期間】 第23期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社S J I

【英訳名】 SJI Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 李 堅

【本店の所在の場所】 東京都品川区東品川四丁目12番8号

【電話番号】 03-5769-8200(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営企画本部長 山本 豊

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区東品川四丁目12番8号

【電話番号】 03-5769-8200(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営企画本部長 山本 豊

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年11月14日に提出いたしました第23期第2四半期（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所につきましてはX B R Lの修正を行いましたので、併せて修正後のX B R L形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を関連書類として提出いたします。

また、訂正後の四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人より四半期レビューを受け、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績の分析

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2 四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第2 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

3．報告セグメントごとの資産に関する情報

4．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(企業結合等関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	7,857,522	7,433,392	17,812,301
経常利益又は経常損失 (千円)	117,609	<u>824,588</u>	821,889
四半期(当期)純利益又は四半期純損失 (千円)	400,105	930,973	8,071
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	730,774	<u>1,139,776</u>	49,705
純資産額 (千円)	11,716,631	<u>16,552,704</u>	12,290,787
総資産額 (千円)	22,063,788	<u>30,178,896</u>	23,566,652
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額 (円)	558.13	1,298.66	11.26
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			11.26
自己資本比率 (%)	47.0	<u>39.2</u>	46.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	751,350	903,377	908,433
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	60,547	1,846,194	74,158
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	506,158	1,884,213	387,431
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	3,438,035	5,967,814	3,143,367

(訂正後)

回次	第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (千円)	7,857,522	7,433,392	17,812,301
経常利益又は経常損失 (千円)	117,609	<u>606,278</u>	821,889
四半期(当期)純利益又は四半期純損失 (千円)	400,105	930,973	8,071
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	730,774	<u>1,138,463</u>	49,705
純資産額 (千円)	11,716,631	<u>16,260,698</u>	12,290,787
総資産額 (千円)	22,063,788	<u>30,479,033</u>	23,566,652
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額 (円)	558.13	1,298.66	11.26
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			11.26
自己資本比率 (%)	47.0	<u>38.8</u>	46.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	751,350	903,377	908,433
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	60,547	1,846,194	74,158
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	506,158	1,884,213	387,431
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	3,438,035	5,967,814	3,143,367

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正前)

(省略)

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,433百万円(前第2四半期比5.4%減)、営業利益は167百万円(前第2四半期比185.9%)、経常利益は824百万円(前第2四半期 経常損失117百万円)、四半期純利益は930百万円(前第2四半期 四半期純損失400百万円)となりました。

(訂正後)

(省略)

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,433百万円(前第2四半期比5.4%減)、営業利益は167百万円(前第2四半期比185.9%)、経常利益は606百万円(前第2四半期 経常損失117百万円)、四半期純利益は930百万円(前第2四半期 四半期純損失400百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は30,178百万円(前連結会計年度比28.1%増)となりました。これは主に現金及び預金が3,119百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は13,626百万円(前連結会計年度比20.8%増)となりました。これは主に短期借入金が2,252百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は16,552百万円(前連結会計年度比34.7%増)となりました。これは主に少数株主持分が3,325百万円増加したことなどによるものであります。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は30,479百万円(前連結会計年度比29.3%増)となりました。これは主に現金及び預金が3,119百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は14,218百万円(前連結会計年度比26.1%増)となりました。これは主に短期借入金が2,252百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は16,260百万円(前連結会計年度比32.3%増)となりました。これは主に少数株主持分が3,034百万円増加したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、903百万円となりました。主な減少要因としては、税金等調整前四半期純利益を1,082百万円計上したものの、持分法投資利益1,022百万円、前渡金の増加823百万円、特別退職金の支払額310百万円によるものであります。

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、903百万円となりました。主な減少要因としては、税金等調整前四半期純利益を1,082百万円計上したものの、持分法投資利益803百万円、前渡金の増加823百万円、特別退職金の支払額310百万円によるものであります。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
(省略)		
固定資産		
有形固定資産	256,794	475,893
無形固定資産		
のれん	826,603	2,861,208
その他	404,099	469,287
無形固定資産合計	1,230,702	3,330,496
投資その他の資産		
投資有価証券	3,379,823	3,068,158
投資不動産(純額)	1,911,204	1,798,053
その他	838,113	744,627
貸倒引当金	156,242	143,116
投資その他の資産合計	5,972,899	5,467,723
固定資産合計	7,460,396	9,274,113
資産合計	23,566,652	30,178,896
負債の部		
(省略)		
固定負債		
長期借入金	1,899,615	1,459,137
その他	82,000	68,380
固定負債合計	1,981,615	1,527,517
負債合計	11,275,865	13,626,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
(省略)		
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,987	877
繰延ヘッジ損益	5,345	3,678
為替換算調整勘定	864,656	714,081
その他の包括利益累計額合計	867,014	718,637
少数株主持分	1,389,504	4,715,444
純資産合計	12,290,787	16,552,704
負債純資産合計	23,566,652	30,178,896

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
資産の部		
(省略)		
固定資産		
有形固定資産	256,794	475,893
無形固定資産		
のれん	826,603	3,161,346
その他	404,099	469,287
無形固定資産合計	1,230,702	3,630,634
投資その他の資産		
投資有価証券	3,379,823	3,068,158
投資不動産(純額)	1,911,204	1,798,053
その他	838,113	744,627
貸倒引当金	156,242	143,116
投資その他の資産合計	5,972,899	5,467,723
固定資産合計	7,460,396	9,574,251
資産合計	23,566,652	30,479,033
負債の部		
(省略)		
固定負債		
長期借入金	1,899,615	1,459,137
その他	82,000	660,523
固定負債合計	1,981,615	2,119,661
負債合計	11,275,865	14,218,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
純資産の部		
(省略)		
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,987	877
繰延ヘッジ損益	5,345	3,678
為替換算調整勘定	864,656	714,748
その他の包括利益累計額合計	867,014	719,304
少数株主持分	1,389,504	4,424,106
純資産合計	12,290,787	16,260,698
負債純資産合計	23,566,652	30,479,033

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(省略)		
営業外収益		
受取利息	25,491	41,486
受取配当金	768	1,821
持分法による投資利益	217,415	1,022,177
その他	83,509	56,953
営業外収益合計	327,185	1,122,440
営業外費用		
支払利息	67,298	83,872
為替差損	379,575	349,454
その他	56,544	32,146
営業外費用合計	503,418	465,473
経常利益又は経常損失()	117,609	824,588
特別利益		
固定資産売却益	169	124
関係会社出資金売却益	-	162,862
段階取得に係る差益	-	358,228
特別利益合計	169	521,215
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(省略)		
営業外収益		
受取利息	25,491	41,486
受取配当金	768	1,821
持分法による投資利益	217,415	803,868
その他	83,509	56,953
営業外収益合計	327,185	904,130
営業外費用		
支払利息	67,298	83,872
為替差損	379,575	349,454
その他	56,544	32,146
営業外費用合計	503,418	465,473
経常利益又は経常損失()	117,609	606,278
特別利益		
固定資産売却益	169	124
関係会社出資金売却益	-	162,862
段階取得に係る差益	-	576,538
特別利益合計	169	739,525
(省略)		

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	324,872	992,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,707	3,865
繰延ヘッジ損益	1,196	1,667
為替換算調整勘定	246,436	312,309
持分法適用会社に対する持分相当額	163,368	162,547
その他の包括利益合計	405,901	147,565
四半期包括利益	730,774	1,139,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689,291	1,079,350
少数株主に係る四半期包括利益	41,482	60,425

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	324,872	992,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,707	3,865
繰延ヘッジ損益	1,196	1,667
為替換算調整勘定	246,436	59,024
持分法適用会社に対する持分相当額	163,368	207,473
その他の包括利益合計	405,901	146,251
四半期包括利益	730,774	1,138,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689,291	1,078,683
少数株主に係る四半期包括利益	41,482	59,779

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
為替差損益(は益)	54,555	56,271
持分法による投資損益(は益)	217,415	1,022,177
段階取得に係る差損益(は益)	-	358,228
関係会社出資金売却損益(は益)	-	51,723
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
為替差損益(は益)	54,555	56,271
持分法による投資損益(は益)	217,415	803,868
段階取得に係る差損益(は益)	-	576,538
関係会社出資金売却損益(は益)	-	51,723
(省略)		

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間において、LianDi Clean Technology Inc.の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において科大恒星電子商務技術有限公司及び北京宝利信通科技有限公司の全ての持分を譲渡し、連結の範囲から除外しております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「中国」において4,891百万円増加しております。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間において、LianDi Clean Technology Inc.の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において科大恒星電子商務技術有限公司及び北京宝利信通科技有限公司の全ての持分を譲渡し、連結の範囲から除外しております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「中国」において5,191百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

(訂正前)

「中国」セグメントにおいて、LianDi Clean Technology Inc.の株式を追加取得したことによりのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、2,234百万円であります。

(訂正後)

「中国」セグメントにおいて、LianDi Clean Technology Inc.の株式を追加取得したことによりのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、2,534百万円であります。

(企業結合等関係)

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

(訂正前)

2,234百万円

(訂正後)

2,534百万円

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月22日

株式会社S J I
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 正 明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡 本 和 巳 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 井 広 幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社S J Iの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社S J I及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成23年9月22日開催の取締役会において、第三者割当による新株発行を決議し、平成23年10月17日に払込手続が完了している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年11月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。